昭和46年1月15日　第193号　（毎月15日発行）

広報あさう

発行所　麻生町1561—9　電話(代)420番
発行人　麻生町役場　小沼幸蔵
印刷所　麻生印刷

1月1日の人口

男	女	計	世帯数
8,883人	9,198人	18,081人	3,847戸

1月のメモ

6日　消防出初式
11日　保健施設研修会
13日　畑作総合事業推進打ち合せ会
18日　営農会議
20日　民生委員会議
　　農業委員会
　　納税組合連合会役員会
21日　議会
23日　ダイヤル電話開通記念式典
25日　老人クラブ会長会議
　　酪農組合先進地視察
　　行方郡税務事務研究会
26～27日　献血
29～30日　町県民税、国保税第四期徴収

（写真説明）

富田の浅野熊蔵さんは、御飾りをつくり始めて40年その技術は高く評価されている。この手から今年は約60種類、5,000個以上の御飾りがつくられ、各家庭の神棚や玄関、自動車につけられた。

稲の穂が出る前に刈り取られたワラは青く新春にふさわしい色をしている。

好きで始めて40年……

青いワラはみているうちに、しめ飾り、玉飾り、宝舟と変つていく。

町長　小沼幸蔵

明けましておめでとうございます。

皆さまお健やかに新しい年を迎えられ元気一杯希望に満ち溢れておられることとお喜び申し上げます。

昨年中は町民各位の御協力によりまして平和なそして豊かな町づくりをモットーに微力ながら打ち込むことが出来ました。学校給食センター建設を初めとして診療所の増築町営住宅の建設、漁港事業、天王崎開発事業、道路の整備事業、或は外郭事業として麻生高等学校の永久校舎建設事業など順調に推移しておりますことについて改めて御協力に感謝するものであります。

激動する七〇年代にはいつたといわれた昨七〇年は、またたく間に過ぎ去つて、ここに七一年を迎え真の七〇年代はこれからが始まりだともいわれるように国際的にも内政の面でも何か重圧感を覚えるものがあります。

町の状勢も米の生産調整を始め、農業生産物の不安定な価格など農家は窮地に追い込まれております。一方、経済成長の鈍化傾向に伴つて商工業の方々にも悪影響を与えてくるでしょう。なかなか複雑な経営環境になつて参りましたことを痛感いたします。

大きな流れの中でのことではございますが、こうしたことは皆様の悩みを悩みとし、町民の心を心とする基本的姿勢をもつて町政に励んで参りたいと存じます。

昭和四十六年は町道の整備教育施設の充実、農商工業の育成強化、観光開発などに重点を指向する考えでおります

具体的に大きな事業をあげれば、町道の舗装工事、ゴミ処理場の建設、漁港整備、町営住宅の建設、麻生小学校改築事業着手などの構想を持つております。

今後、慣習的行政から少しづつ脱皮して時代にふさわしい町政に、私を先頭に全職員一丸となつて精力的に活動する覚悟でございます。

末筆ながら町民各位の御健康をお祈りいたしましてごあいさつとします。

議長　関　武雄

昭和四十六年の年頭に当り議会を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

皆さん明けましておめでとうございます。

昭和四十六年の輝かしい新春を迎え町民の皆様とともに栄えゆく町の将来をことほぎあわせて町政の伸展をお祝いできますことは、私の心から喜びとするところであります私どもは町の発展と住民福祉向上のために山積する事業の遂行に微力を傾注してまいりましたが幸い町民各位の深いご理解とご協力を賜わり大方の達成を見ましたことはご同慶に耐えません。

一年を回顧して感じますことは、急速な経済成長の反面交通災害を筆頭に幾つかの公害が社会不安の原因になつていることであります。

自動車の激増は交通事故につながり、大気を汚染し、はかりしれない公害を及ぼしており、また農薬の使い過ぎが米や野菜、牛乳を汚し女性の母乳からまで残留薬が検出され、とくに埼玉県の中学生が空中散布の農薬により高血圧になつていることはまことに肌寒い話であります。

幸い本町には交通災害を除き以上のような公害は起きておりませんが、空中防除事業もありますので、今年はこれらの問題にも対処しなければならないかと考えております

今後益々皆さまのご期待にそうべく努力いたす覚悟でありますから倍旧のご指導ご支援を切にお願いいたします。

末筆ながら皆様のご多幸を衷心よりお祈り申し上げます

町長
町会議員補欠（3名）
選挙は
2月中旬に

〔善〕〔意〕

麻生の山本増穂さん、森吉雄さんは麻生小学校へ体育トレーニングコース材料を贈りました。

南老人会（会長浅野長寿）は小高小学校へぞうきん百三十枚贈りました。

善意銀行へ次のかたが預託されました。

四鹿の出津慶松さんは和楽会へ三千円

籠田の斉藤勉さんは目の悪い人へ杖三十本

麻生小学校六年一組（沼田博美外十七名）は恵まれない人へ八百十四円

矢幡長寿会は困っている人に千百九十七円

麻生町青年団大和地区は困っている人へ四千八百二十円

麻生町青年団麻生地区は困っている人へ九百十円

大和婦人会は老人ホーム水郷荘へおしめ材料

白浜の大原弘明さんは白浜子供会へ二千円。白浜老人クラブへ千円

麻生町さゞなみ友の会は老人ホーム水郷荘へ慰問

白浜の荒野良三さんは白浜子供会へ二千円

新しい道

—成人記念誌より—

小高　渋谷俊雄

歳月のたつのはほんとうに速いものです。まだ遠い先のことと思つていた「二十歳」がもうきてしまいました。

人生という長い道をこれからは一人で歩いていかなければなりません。今まではその進む方向がしるされていました。そしてただその上を歩いてきたようなものでした。しかしこれからは自分自身でそれをみつけて進まなければなりません。それが私たちに与えられた義務であり責任でもあります。

私たちはとかく権利のみを主張し、義務や責任というものをないがしろにしがちでした。でもこれからは、それを過去のものとしなければなりません。自己の義務、責任というものを十分に認識することが必要です。その道しるべとなるもの、モラル、知識、感情等です。

（中略）

モラル、正しい知識、そして豊かで美しい感情の調和した時点で初めて真の人間として成り立つのです。そういう人間が一人でも多くなればこの社会がもつとよくなるにちがいありません。そうすることは非常に困難であるにちがいありません。だからといつてあきらめてしまつては何にもなりません。そういう状態に一歩でも近づくように努力することが大切なのです。

私たちは若い。若いということは理想や夢をみることも大事です。

理想は持つものの現実はなかなかそれをよせつけてくれません。暗い沈んだ面がたくさんあります。しかしそういう面が多ければ多いほど理想というものを大切にしなければなりません。そしてそれに向かつて少しでも努力することです。が理想ばかりを追つて現実というものを忘れてしまつてはだめです。現実をよく見つめて理想を持たなければなりません。夢はただ単に夢であつてもかまわないと思います。夢は夢それ自体が目的であつてもいいのです。

これから先、世の中はどう変わるのかだれもわかりません。ただ私たちが青春に別れをつげ、社会の中心となつて次の世代の若人を批判する時がくるのはたしかです。そしてその時にはよりよい社会がおとずれていることを願い、日一日を大切にしながら小さな努力を積み重ねてゆくつもりです。

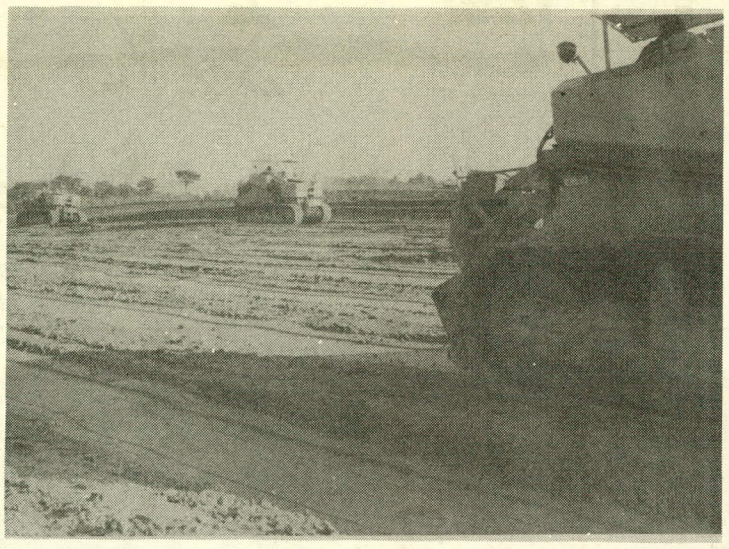
移転地

麻生高整地はじまる

第一次四月に完成

新築移転を計画している麻生高等学校の第一次整地起工式が、十二月十四日におこなわれ、現在工事が急ピッチで進められています。

工事をするのは北浦村の高橋建設で四十六年四月までに完成することになっています。



大型ブルドーザーメンクは1回に7リツボーメートルの土を運ぶ　—前方は大麻神社—

県立麻生高等学校は、敷地がせまく学舎も老朽化したところから麻生高等学校永久校舎建設期成同盟会（会長小沼幸蔵）が昭和四十三年に結成され、敷地は役場の北側、大宮台に約八ヘクタールを確保しました。

第一次整地（敷地の六割）を四十五年度予算で計画、十一月三十日の指名競走入札で高橋建設株式会社（北浦村）が二千八百九十六万円でこれを落札、昭和四十六年四月までに整地することになりました

起工式が十二月十四日、関係者二十人を集めておこなわれ、現在ブルドーザー五台で整地は急ピッチに進められています。

第二次整地は四十六年度、新校舎は鉄筋コンクリート造り四階建てで四十八年度中に完成するよう予定しています

が、県では予算化されておらず具体的なことは決つていませんので、四十六年度予算で具体的な計画が立てられるよう期成同盟会では働きかけています。

青写真を見ると、校舎の外に屋内体育館兼講堂、格技場図書館、合宿場、グランドには四百メートルトラック、サッカー場、野球場、ハンドボールコート（二面）テニスコート(四面)　バレーボールコート(二面)　に五十メートルプールを配置し、霞ケ浦を展望できる環境の良い所に学習やスポーツに必要の施設は全部造るよう設計されています

年金のはなし

通算年金制度（下）

＜通算25年で老令年金＞

通算対象期間を合算して二十五年（国民年金以外の公的年金を合算するときは二十年年令によつて二十四年から十年までに短縮される。）以上ある人は、厚生年金の加入期間が一年以上あれば通算老令年金を受けるための資格ができたことになります。

＜退職したときは＞

退職などで厚生年金保険をやめたときは女子の場合、二年以上の加入期間、男子は五年以上の加入期間があり、六十歳以上であれば「脱退手当金」を受給することができますが、脱退手当金を受けてしまうと厚生年金保険に加入しなかつたものとみなされ、通算老令年金の支給が受けられなくなります。

退職されたときは、簡単に脱退手当金を請求しないで「再就職の可能性」「これから他の公的年金に加入するか」老後の年金制度のことを慎重に考えてから請求してください。

とくに女性の人は退職しても夫が職場で公的年金に加入していれば国民年金には任意加入となり、任意加入しなくてもその期間は通算対象期間となり、将来は、厚生年金保険の加入期間をもとに通算老令年金を受けることができます。

年金制度は通算されることを理解し、できるだけ年金と年金を結びつけるようにしましょう。

1月22日　電話がダイヤルに

麻生・矢幡・大和・行方局を統合

麻生、矢幡、大和、行方局が統合され麻生局となつて一月二十二日、午後三時から自動電話になり、全国ほとんどの都市とダイヤル直通でお話ができます。

これに伴い電話番号がかわりますので番号を確かめてからかけてください。

わからないときは一〇四番へたずねてください。

火災があつたら
一一九番

火災があつたら〝一一九〟をダイヤルしてください。直通で役場につながり、ここから消防団へ連絡します。

一般から市外へは

市外局番、市内局番、加入者番号の順にダイヤルしてください。

たとえば東京二七〇局四二六一へかけるときは

03　（市外局番）
←
270　（市内局番）
←
4261　（加入者番号）

農集から市外へは

受話器をとり発信音をきいて〝0100〟をダイヤルしてください。潮来局の交換手がでますから、あなたの局名市内局番、加入者番号、相手の局名、市内局番、加入者番号の順におつしやつてください。

交換手が番号を反復したらそのままお待ちください。すぐ相手を呼びます。

幼稚園

園児の募集

麻生町立各幼稚園では、園児の募集をしています。募集期間は二月十五日まで、入園希望の方は、もよりの幼稚園に申し込んでください。

募集人員は次のとおりです

麻生幼稚園　一二〇名
太田幼稚園　八〇名
大和幼稚園　四〇名
行方幼稚園　四〇名
小高幼稚園　四〇名

△入園料五〇〇円、保育料月五〇〇円、その外に教材費給食費、父兄会費等がかかります。

2月1日

農業基本調査

この調査は、本県農業の実態を明らかにし、農業経営改善、農林行政施策の基礎資料を作成するため二月一日現在で行なうものです。

調査の対象になる農家は

①経営耕地面積が十アール以上で農業を行なう世帯

②十アール未満でも、調査期日前一年間における農産物の総販売が五万円以上である世帯

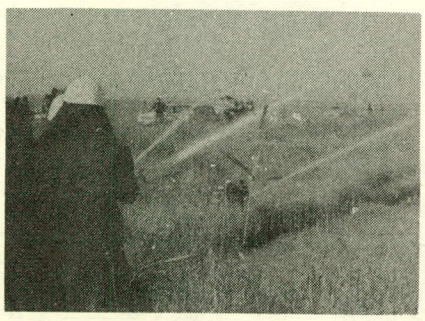
③学校、試験場、協同組合、協業事業体および会社等で

①、②のいずれかに該当する農業事業体

○調査員が調査票を配布しますので調査員の説明を聞いて記入してください。

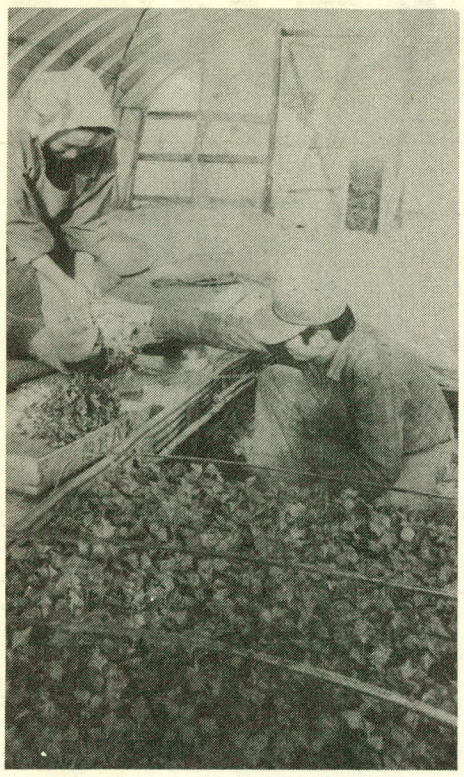
1・6出初式

—橋門干拓—



あそうの農業

(4)ミツバ



正月用ミツバを収穫する　平山晴夫君（舟子）

行方台地を利用した農閑期作物として、昭和三十八年に農協が中心となつてミツバ栽培が導入されました。

経済課調べによる現在の栽培農家三百七十戸、総生産量十万キログラム、売上金約六千三百万円。行方台地はミツバ栽培に適し作柄もよく「茨城ミツバ」として東京市場では好評を得ており、町の特産物として定着しました。

ミツバ栽培は手数のかかる作物なので収穫期の分散や動力化による省力を図ることがこれからの研究課題となつています。

戸籍の窓口

＜おめでた＞

氏名	世帯主	住所
小松崎洋子	幸雄	麻生
米山	美紀	麻生
稲川	輝見	〃
土岐田	光剛	〃
宮川	貴弘	〃
立原	千恵	〃
内田	明寿	〃
出沼	潤一	〃
新橋いづみ	堅	〃
荒野	真弘	〃
土子	和江	〃
石橋	幸夫	〃
蜷川	謙治	〃
高野きよみ	正一郎	〃
仲野	進一	〃
宮本久美子	治夫	〃
石川	淳	〃
箕輪	康弘	〃
根本ゆかり	勝寿	〃
河島	正信	〃
石田	和子	〃
稲田	友美	〃
金田亜希子	金平	〃
谷口	一行	〃
大川まゆみ	金雄	〃
千葉	健一	〃
柴原	和	〃

＜おくやみ＞

氏名	世帯主	住所
藤上	亀寿	麻生
永作	清衛	〃
野川	モト	〃
西谷	仁蔵	〃
永峰	トヨ	〃
田山	勇	〃
久保	やい	〃
出沼	ゆみ	〃
中村	こと	〃
奥村	とみ	〃
堀越	とく	〃
土子	和江	〃
矢幡市之助	栄	〃
内田	いさ	〃
高橋	宗雄	〃
磯山	なつ	〃
木村	りき	〃
高野	喜雄	〃
箕輪	いわ	〃
箕輪	ます	〃
棚谷	茂夫	〃
大槻	とみ	〃
大原	弘	〃
荒野	良一	〃
今泉	その	〃
太田すゑ	広	麻生
土岐田	光剛	〃
宮川	貴弘	〃
立原	千恵	〃
内田	明寿	〃
出沼	潤一	〃
新橋いづみ	堅	〃
荒野	真弘	〃
土子	和江	〃
石橋	幸夫	〃
蜷川	謙治	〃
高野きよみ	正一郎	〃
仲野	進一	〃
宮本久美子	治夫	〃
石川	淳	〃
箕輪	康弘	〃
根本ゆかり	勝寿	〃
河島	正信	〃
石田	和子	〃
稲田	友美	〃
金田亜希子	金平	〃
谷口	一行	〃
大川まゆみ	金雄	〃
千葉	健一	〃
柴原	和	〃
藤上	亀寿	麻生
永作	清衛	〃
野川	モト	〃
西谷	仁蔵	〃
永峰	トヨ	〃
田山	勇	〃
久保	やい	〃
出沼	ゆみ	〃
中村	こと	〃
奥村	とみ	〃
堀越	とく	〃
土子	和江	〃
矢幡市之助	栄	〃
内田	いさ	〃
高橋	宗雄	〃
磯山	なつ	〃
木村	りき	〃
高野	喜雄	〃
箕輪	いわ	〃
箕輪	ます	〃
棚谷	茂夫	〃
大槻	とみ	〃
大原	弘	〃
荒野	良一	〃
今泉	その	〃
左田男	光良	麻生
清衛	トミ	〃
晋	善次	〃
留次郎	光男	〃
千代松	丈夫	〃
富田	広	〃
石神	輝	〃
矢幡	文男	〃
行方	栄	〃
於下	明	〃
島並	和男	〃
橋門	喜好	〃
小高	市	〃
青沼	操	〃
蔵川	一作	〃
白浜	良三	〃
左田男	弘明	〃